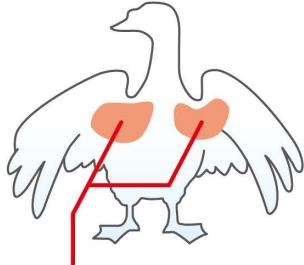


寒暖差がつらい方、注目! 疲労感が軽くなる成分「イミダペプチド」

これまで疲労感は、栄養不足やビタミン不足などが原因と考えられてきた。そのため、ウナギやヘツポンなどを食べて「精をつけ」疲れ対策をしてきた人も多いだろう。そういう方法は栄養不足の戦前ならば効果があったかもしれないが、現代においては、それでは根本的な疲労感対策はできないことが、このメカニズムの解明で



「イミダペプチド」は、鳥類の翼の付け根の筋肉に特に多く含まれている。

この「イミダペーパチド」は、様々な動物の最も酷使する部分に豊富に存在するという。人間は、脳に

2002年に厚生労働省が行った調査では、72%の人が日常的な疲労を訴えるという結果が出た。そんな疲労大国日本で、世界に先駆けて「疲労感のメカニズム」が明らかになった。

人間は、活動をすると体内で疲れの原因となる物質が発生。それらが過剰に発生すると、細胞をサビつかせる。それにより疲労感が発生することが分かった。

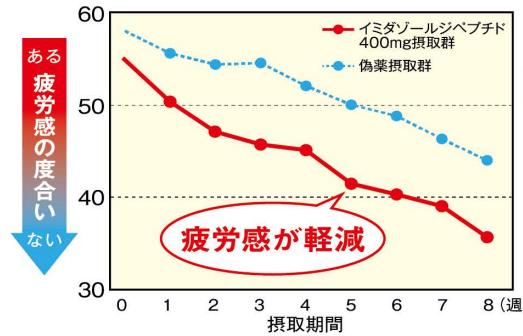
**日本人の72%が
疲労で悩む**

疲労感から抜け出す方法として、これまで栄養ドリンクやスタミナ食などの方法がとられてきた。しかし疲労感で悩む人は後を絶たない。

では根本的に疲労感対策をすべくにはどうしたら良いのだろうか。それは、体内に発生したサビを効果的に取り除くことが必要だ。

渡り鳥が解明の ヒントに

そこで、国レベルで疲労感に効果的な食品成分を解明する研究が2003年に始動した。その研究チームが目をつけたのが「渡り鳥」だった。渡り鳥は「不眠不休で10日間も飛び続けることができる。その理由を調べたところ、羽の付け根の筋肉（胸肉）に「イミダペプチド」という成分が豊富に含まれていることが分かった。



- ◆日常的な作業で疲労を自覚している20歳以上65歳以下の137名をイミダゾールペチド400mgを服用する群(70名)、または偽薬(プレセボ)群(67名)に分け、1日1回摂取する試験を8週間行いました。対象商品:イミダペチド飲料。

最も多く存在する。しかし「イミダペアブチド」は、年齢と共に減少することが分かった。そこで、疲労感が軽減される科学的な臨床試験によって実証された。最近ではテレビにも多く取り上げられ話題を集めている。

※正式名称：イミダゾールジヘアチド

なかなか取れない

『疲労感』原因明らかに

2003年に5つの大
学、大手食品メーカー18社、
行政などが参画した『産官

研究と開発  **産官学プロジェクトで実証**



梶本 修身 特任教授

産官学連携
抗疲労プロジェクトリーダー^{著書}「全ての疲労は脳が原因」
など。

産官学プロジェクトで実証

同プロジェクトでは、疲労に良いとされる食品成分を科学的に実証する試験が行われました。

「イミダペアチド」は私たちの体の中にも存在する成分で、疲労感を感じにくいい人ほど多いといわれています。しかし、年齢とともに減少する傾向にあるため、積極的に摂取する方が大切。毎日200mgを2週間以上連続で摂る人が推奨されています。

証。その結果、最も有用性
が高いと科学的に証明され
たのが、鶏胸肉から抽出
された「イミダペプチド」

The advertisement features a collage of traditional Chinese medicine ingredients on the left (garlic, ginseng, turtle shell, black vinegar) and modern product packaging on the right. The central focus is a large, stylized blue and white logo of the Japanese character 'とへと' (tohe-to). To the right, the product name 'なあなたへ イミダペプチド' is written in a large, bold font. A yellow starburst graphic contains the text 'T.V・雑誌も注目!' (Attention from TV and magazines!). On the far right, there's a section titled '話題の 疲労感軽減 成分のヒミツ' (The secret of the fatigue reduction component) with sub-sections for '渡り鳥' (Migratory bird) and '大型回遊魚' (Large pelagic fish). The bottom right corner includes a small note about the product being featured in Japanese media and its benefits for fatigue reduction.

お申し込みは今すぐ！必ず 申込番号 [OB-001] と、お伝え
フリーダイヤル **0120-160-793**

FAX フリーダイヤル **0130-188-565** [24時間受付・年中無休]

FAX 0120-189-585 [24時間受付・年中無休]
右のハガキの記入例を参考に
必要事項をご記入のうえ
62円 〒560-0082
① 10本お試しセット
② TEL受取品



総医研ホールディングス(東証マザーズ2385)グループ
日本予防医薬株式会社 資本金1億55百万円